

第13回 血管腫・血管奇形IVR研究会のご案内

開催日時：2014年6月7日(土) 13:00～16:00

開催場所：ホテル日航奈良 4階 第3会場『飛天1』

○研究会費 学会参加費とは別途、受付時に、参加費として1,000円を徴収させていただきます。

13:00～14:00 一般演題

座長：高橋 聡(秋田大学医学部 放射線科)

兵頭 秀樹(札幌医科大学 法医学教室)

演題1：コイルを用いた静脈塞栓術を行ったⅡ型上腕動静脈婁の1例

新村 耕平(国立都城病院 放射線科)

演題2：経動脈的塞栓で制御困難であった巨大な顔面AVMに対し ethanolamine oleateによる経静脈的塞栓で根治できた1例

峯 聡美(長崎大学病院 放射線科)

演題3：手指AVMに対して Balloon Occluded Glue Embolization (B-Glue) を施行した1例

與座喜一郎(聖マリアンナ医科大学 放射線医学講座)

演題4：内腸骨動脈近位結紮後の症候性骨盤内巨大AVMに対し、直接穿刺法にて治療しえた1例

新城 安基(川崎市立多摩病院 放射線科)

演題5：静脈奇形による気道狭窄に対する硬化療法の検討

佐藤 友美(福島県立医科大学 放射線医学講座)

演題6：難治性血管腫・血管奇形についての調査研究班による血管腫・血管奇形全国疫学調査の結果報告

三村 秀文(川崎医科大学附属川崎病院 放射線科)

演題7：涙腺AVMの1例

高橋 聡(秋田大学医学部 放射線科)

14:00～14:40 教育講演

座長：清末 一路(大分大学 放射線科)

『頭頸部AVMに対する血管内治療』

新見 康成先生(聖路加国際病院 脳神経センター長)

14:50～16:00 ラウンドテーブルディスカッション

座長：今井 茂樹(総合南東北病院 総合血管内治療センター)

清末 一路(大分大学 放射線科)

『AVM Case-based discussion』

演者：大須賀慶悟(大阪大学 放射線医学教室)

加藤 愛子(大分大学医学部附属病院 形成外科)

小宮山雅樹(大阪市立総合医療センター 脳神経外科)

三村 秀文(川崎医科大学附属川崎病院 放射線科) (五十音順)

血管腫・血管奇形IVR研究会 代表世話人

今井 茂樹(総合南東北病院)

第13回血管腫・血管奇形IVR研究会 当番世話人

清末 一路(大分大学 放射線科)

共催：テルモ株式会社